

ひらけ！ 探究の扉

—文化祭 SSH・探究発表報告—

◇期日：令和7年10月29日（水）

◇場所：本校人文社会教室

◇発表者：各種実習・研修・大会などの参加生徒代表

◇参加者：本校生徒・本校教職員・保護者など

文化祭では、令和7年前半のSSH事業や探究活動を報告するプレゼンテーションを行い、併せて作成したポスターなどを掲示した。

1年探究科学科立山自然観察実習の発表では、美女平・弥陀ヶ原・室堂での観察や測定、標高による植生の変化やブナ林の積雪深や高山植物の調査、天体観測などで、自然の多様な姿に触れた体験報告の後、日の当たる場所で育つ植物と日の当たらない場所で育つ植物の植物名や高さ、葉や茎の形の違いなどについての研究発表があった。



また、県内施設企業研修1年では、柳田醸造店とスギノマシンを訪問し、地域に根ざしながら世界へ挑戦する富山の産業や人々の姿を学んだと報告があった。生徒からは「地元を盛り上げたいという姿勢や技術力に刺激を受けた」「新たな挑戦や社会課題の克服に向けた努力を肌で感じた」との感想が聞かれた。

2年生からは、まず富山大学薬学実習の報告があった。この実習では、薬品合成や動物実験を通じて、薬の効果と危険性、研究の緻密さを実感したという。実習を通して研究者の姿勢に触れ、科学の奥深さを感じたことや、また院生の方との交流から今後の進路への視野が広がったことを話していた。

さらに東京大学研究室実習の発表では、情報理工学系研究室で行ったOS(オペレーションシステム)作成の実習について報告があった。発表では、キーボードの入力を反映したり、OSのサービスを呼び出すためのシステムコールを実装したりするためのプログラミングの難しさを実際のプログラムやイメージを交えて伝えていた。また、最新の設備や研究内容を体験し、将来の進路や探究活動への意欲を一層高める機会となったと話していた。



3年SSH発展探究化学班は、SSH全国生徒研究発表会で発表した「拡散しない指示薬～eco-friendly…ってコト!?～」の研究について、テーマ設定の背景や実験、得られた気づきなどを分かりやすく紹介した。全国の高校生との交流は大きな刺激であり、これからモチベーションを一層高める貴重な経験になったという。3年間の探究活動を振り返る言葉からは、積み重ねてきた努力と達成感が伝わり、その姿は後輩である私たちにとっても大きな励みとなった。もっと多くの生徒に聞いてもらいたいと思った。



会場および廊下には、立山自然観察実習をはじめ各実習や発表に関するポスターが展示された。また、過去の研究集録や報告書等の展示や、探究支援グッズの配布もあった。これらの発表を通して、生徒一人



ひとりが学校内外のさまざまな場で学びの機会を見いだし、自ら考えて行動する姿を知った。これらは大きな刺激となり、私たちが今後の学習や探究にどう向き合うべきかを考えるきっかけとなった。仲間の挑戦に触れることで、自分も新たな一步を踏み出したいという意欲が高まる有意義な機会であった。